

# 令和7年度 景観からの地域づくり（景観点検）事業活動

対象地：金ケ崎町：城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区  
 主催：特定非営利活動法人いわて景観まちづくりセンター/共催：金ケ崎町

## ●背景と目的

金ケ崎町は重要伝統的建造物群保存地区を中心に、えぐね（屋敷林）や生け垣が町並みの景観を形作っている。しかし近年、木々の過大成長、住民の高齢化による管理負担の増加、外部アドバイスへの抵抗、補助制度の活用停滞など、多面的な課題が顕在化している。

本事業では、①まちあるき・実演&ワークショップ、②報告会による今後の検討を組み合わせ、短期間で「見る → 考える → 動く」を体験的に学び、次年度以降へ繋がる協働モデルを構築することを目的とする

## ●活動内容

### ①まちあるき・実演&ワークショップ（10月5日実施）

- ・まち割りをよく再現している生垣、特徴的なえぐねの良さをまちあるきで体験
- ・生垣、えぐねの管理事例として、剪定のデモンストレーションを体験
- ・ワークショップで、現状と課題を共有、今後に向けた取組を抽出



【まちあるきの様子1】



【まちあるきの様子2】



【ワークショップの様子】

### ②報告会（12月16日）

- ・まちあるき・実演&ワークショップの結果の報告
- ・現状と課題の共有と今後に向けた取組について意見交換

## ●まとめ

### ①まちあるき・実演&ワークショップ」を通して見えてきた気づき

**愛着**  
『きれい／かわいい』が出発点

**継続**  
楽しい・健康・みんなで、続く条件

**行動**  
ごみ拾い・清掃・草取りなど“具体的なできること”

**仕組み化**  
写真で共有 → 家庭で話す → 地域の活動へ

### ②今後の展望

簡単に一緒にあるくことから  
はじめてみる

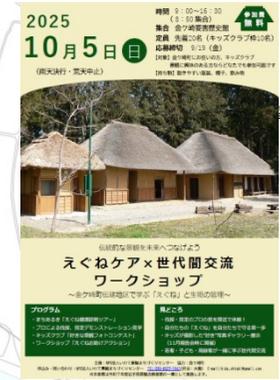
地区内を良く知っている人もあまり知らない人も、一緒に歩くことから始めて、「いいな」と気づくことが景観を守る実践につながる

### ③提案 「景観保存×世代交流」の実践

- ①まちあるき  
→見える化（合意形成の土台づくり）  
（フォト点検、フォトマップづくりなど）
- ②話し合い  
→子どもの視点を地域の行動へつなげる  
（おうちで景観トークなど）
- ③実行  
→守りたいを継続する仕組み  
（学校や地域での工夫した活動など）



ワークショップ募集チラシ



作成したマップ